

平成27年度

大阪市こころの健康センター 所 報

大阪市こころの健康センター

はじめに

平成 27 年度大阪市こころの健康センター所報の刊行に際しまして、ご挨拶申し上げます。

平成 27 年度の事業は平成 26 年度ほどの大きな変化はありませんでしたが、8 月からは、大阪精神科病院協会、大阪府病院協会、大阪府私立病院協会、大阪府救急医療機関連絡協議会、大阪府医師会、大阪府・堺市の関係部署を初めとする関係諸団体・機関のご尽力の結果、夜間・休日の精神科合併症救急の新しい支援体制が開始されました。この体制は、主に二次救急を担っている身体科の病院に身体疾患と精神症状の両方をお持ちの患者さんが受診された場合に、精神科治療のアドバイスを行い、また身体治療終了後に必要ならば入院受入れをするために、府内の精神科病院に輪番で対応をお願いする（合併症支援病院）をするものです。関係諸機関のご支援の結果、2 日に 1 件程度の頻度での対応依頼があり、その運営は比較的順調に進んでいます。

また、うつ病の家族教室の運営方法を変更し、これまでの区のブロック制からこころの健康センターで一括して運営するようになりました。

今後とも、ご支援、ご指導の程お願い申し上げます。

平成 29 年 1 月

大阪市こころの健康センター

所長 田中政宏

目 次

第1 概 要

1 施設の概要 -----	1
(1) 開設 -----	1
(2) 所在地 -----	1
(3) 延べ床面積 -----	1
(4) 平面図 -----	1
2 組織・職員 -----	2
(1) 組織 -----	2
(2) 職員 -----	2
3 予算・決算 -----	3

第2 事業実績

1 精神保健福祉センター業務 -----	6
(1) 技術指導及び技術援助 -----	6
(2) 教育研修 -----	6
ア 精神保健福祉関係職員研修 -----	6
(ア) 新任研修 -----	6
(イ) 新任精神保健福祉関係職員フォロー研修 -----	8
(ウ) 現任研修(全体研修) -----	8
(エ) 現任研修(業務の課題を解決するための研修) -----	8
(オ) 現任研修(事例検討を中心とした研修) -----	9
(カ) 新任期保健師精神保健福祉研修 -----	11
(キ) 思春期関連問題支援者向け研修 -----	11
(ク) 薬物関連問題従事者研修 -----	12
(ケ) ゲートキーパー専門研修 -----	12
(コ) ゲートキーパー専門研修(危機介入編) -----	12
(サ) 自殺未遂者相談支援事業従事者研修 -----	13
(シ) ひきこもり相談窓口事業研修会 -----	13
イ 精神保健福祉関係 人材養成研修 -----	14

(ア) 現任研修 全体研修 と合同で実施	14
(イ) アルコール関連問題に係る支援者育成事業	14
ウ 大阪府 精神保健福祉業務従事者研修	15
(3) 普及啓発	15
ア こころの健康講座	15
イ こころのボランティア講座	16
ウ ひきこもり市民講座	16
エ 思春期関連問題市民講座	16
オ 薬物乱用防止対策事業	16
(4) 調査研究	17
(5) 技術支援	18
ア 関係機関への一般相談	18
イ でかけるチーム精神保健相談	19
ウ 個別支援	20
(6) 精神保健福祉相談	21
ア 思春期関連問題相談	21
イ 薬物関連問題相談	22
ウ こころの悩み電話相談	23
(7) 自殺防止対策事業	24
ア 自死遺族相談	24
イ 自殺未遂者相談支援事業	24
ウ ゲートキーパーの養成	25
エ 自殺予防週間の取り組み	25
オ 自殺対策強化月間の取り組み	25
カ うつ病予防の普及啓発	26
キ うつ病の家族教室	26
ク 大阪市自殺対策検討連絡会議	26
(8) ひきこもり相談窓口事業	27
ア ひきこもり電話相談件数	27
イ ひきこもり面接相談件数	28
ウ ひきこもりアウトリーチ件数	29
(9) 薬物依存症者等ケア強化事業	29

ア	家族心理教育事業	29
イ	関係機関職員専門研修事業	29
(10)	組織の育成	30
(11)	精神医療審査会	30
ア	開催状況	30
イ	入院届・定期病状報告の審査状況	30
ウ	退院・処遇改善請求の審査状況	31
エ	実施審査状況	31
(12)	大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会の運営	31
2	精神保健福祉主管課業務	32
(1)	精神保健福祉審議会の運営	32
ア	自殺防止対策部会	32
(2)	措置・緊急措置診察（入院）業務	33
ア	措置診察	33
イ	緊急措置診察	33
(3)	医療保護入院等の移送事業	33
(4)	精神障がい者保健福祉手帳の交付	34
ア	市営交通料金福祉措置	34
(5)	自立支援医療費（精神通院）の支給認定	34
(6)	精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	34
ア	地域移行支援の実施状況	34
イ	ピアサポーターによる啓発活動	35
ウ	ピアサポーター交流会	36
エ	ピアサポーター養成講座	37
オ	技術支援・コーディネート	37
カ	ワーキンググループ会議	38
キ	大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会	38
(7)	心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業	38
ア	医療観察法対象者および支援状況	39
イ	医療観察法関係研修	39
(8)	精神科救急医療体制整備事業	39
ア	おおさか精神科救急ダイヤルの設置	39
イ	精神科救急医療情報センターの設置	40

ウ	一次救急医療体制の整備	40
エ	二次救急医療体制の整備	41
オ	身体合併症治療体制の確保	41
(9)	精神保健福祉に関する予算・決算業務	43

第3 資料

1	大阪市精神保健福祉審議会 開催内容	45
2	精神医療審査会	49
(1)	運営状況	49
(2)	実地審査状況	51
3	措置（緊急措置）診察・入院状況	52
4	精神障がい者保健福祉手帳交付状況	53
5	精神障がい者保健福祉手帳所持者数	54
6	自立支援医療費（精神通院）受給者数状況	54
7	自立支援医療費（精神通院）受給者数	54
8	保健福祉センターにおける相談指導の状況	55
9	保健福祉センターにおける一般クリニックの状況	56
10	保健福祉センターにおけるグループワーク・酒害教室の状況	57

第 1 概 要

1 施設の概要

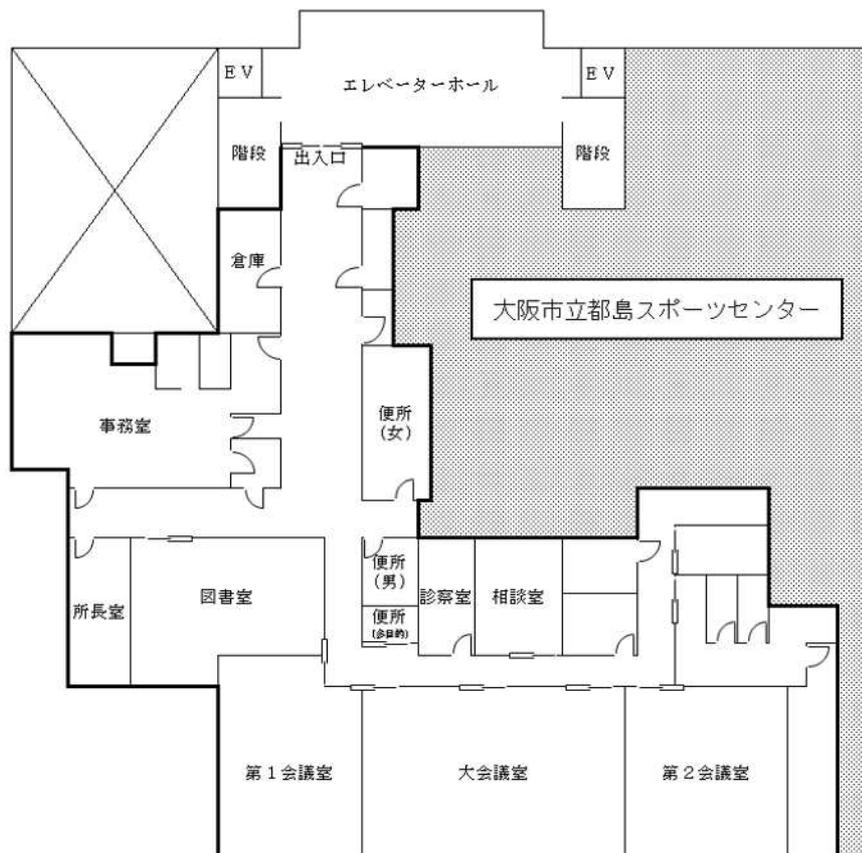
(1) 開設 平成12年4月1日

(2) 所在地 大阪市都島区中野町5丁目15番21号 都島センタービル3F



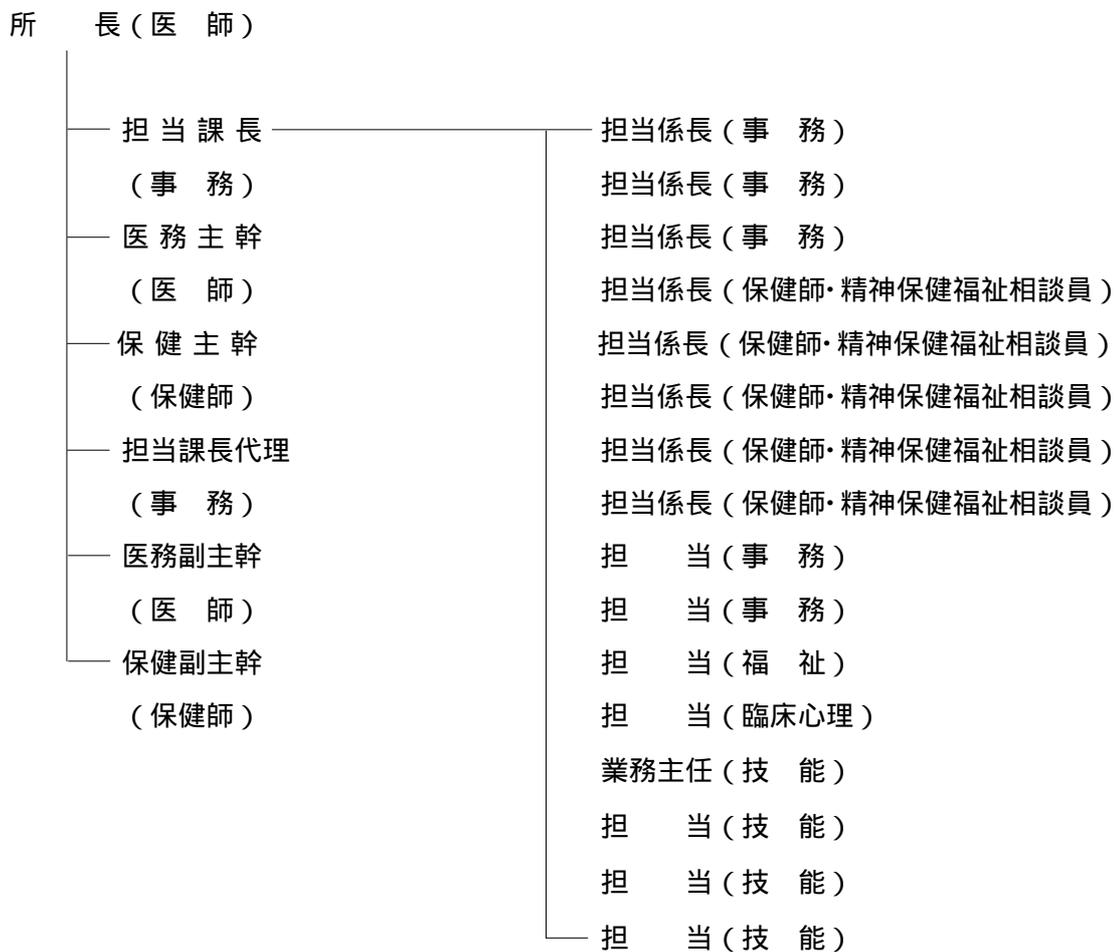
(3) 延べ床面積 992.75m²

(4) 平面図



2 組織・職員（平成27年5月1日現在）

(1) 組織



(2) 職員

人 数	事 務	福 祉	臨 心 床 理	医 師	保 健 師	技 能	計	精神保健福祉相談員 (再 掲)	
								保 健 師	福 祉
7	1	1	3	7	4	23	5	0	

3 予算・決算

(1) 歳入

(単位：千円)

事 項	平成28年度 予算	平成27年度 決算
第1部	5,396,360	5,004,722
使用料	1,021	463
でかけるチーム精神保健相談事業	32	0
精神科救急医療体制の整備事業	989	463
手数料	15	3
こころの健康センター管理運営費（診断書料）	15	3
国庫負担金	5,265,348	4,952,212
精神障がい者通院医療費	5,133,830	4,824,537
措置・緊急措置診察及び入院事業	4,152	4,152
措置入院費公費負担事業	127,366	123,523
国庫補助金	73,091	50,583
マイナンバー制度にかかる総合福祉システムの改修経費	7,607	(2部経費)
こころの健康センター管理運営費	534	530
精神保健福祉普及啓発事業	5	11
思春期関連問題相談事業	201	237
薬物乱用防止対策事業	202	199
でかけるチーム精神保健相談事業	8	240
ひきこもり相談窓口事業	1,395	1,291
自殺防止対策事業	396	198
精神科救急医療体制の整備事業	40,574	31,742
措置・緊急措置診察及び入院事業	21,811	15,918
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	358	217
府補助金	3,031	1,269
自殺防止対策事業	3,031	1,269
財産売却代	53,825	-
恵美須倉庫売却経費	53,825	-
雑入	29	192
市営交通料金福祉措置（広告料収入）	25	0
障がい者支援計画及び障がい福祉計画の策定（広告料収入）	4	0
物品買入にかかる延滞違約金	-	1
精神障がい者通院医療費（医療費返還金等）	-	186
紙類等売払	-	3
公文書公開にかかる諸費用	-	2
第2部	-	18,736
国庫補助金	-	18,736
マイナンバー制度にかかる総合福祉システムの改修経費	(1部経費)	18,736
計	5,396,360	5,023,458

(2) 歳出

(単位：千円)

事 項	平成28年度予算	平成27年度決算
第1部	11,543,947	10,723,436
健康総務費	43,553	26,212
総合福祉システム（福祉五法システム）運用経費	25,851	26,212
総合福祉システム（福祉五法システム）改修等経費	1,513	(2部経費)
マイナンバー制度にかかる総合福祉システム改修経費	16,157	(2部経費)
マイナンバー制度にかかる中間サーバー接続端末設置経費	32	-
保健医療費	11,500,394	10,697,224
精神障がい者通院医療費	10,365,058	9,740,786
こころの健康センター管理運営費	17,817	14,849
精神保健福祉従事職員研修	1,095	1,035
精神保健福祉審議会費	242	121
精神保健福祉普及啓発事業	751	642
思春期関連問題相談事業	604	524
薬物乱用防止対策事業	906	740
でかけるチーム精神保健相談事業	24	353
ひきこもり相談窓口事業	2,791	2,584
精神保健福祉・社会復帰相談指導事業	24,745	25,156
自殺防止対策事業	4,809	4,019
薬物依存症者等ケア強化事業	4,248	365
市長入院同意患者面接事業	360	266
精神科救急医療体制の整備事業	105,682	96,671
措置・緊急措置診察及び入院事業	70,086	58,265
措置入院費公費負担事業	169,876	147,567
精神医療適正化事業	5,508	4,783
心神喪失者等医療観察法に基づく社会復帰支援事業	128	108
精神障がい者保健福祉手帳交付事業	2,267	1,897
市営交通料金福祉措置	685,924	596,058
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	717	435
障がい者支援計画及び障がい福祉計画の策定	2,201	(2部経費)
マイナンバー制度にかかる中間サーバー接続端末設置経費	257	-
恵美須倉庫売却経費	34,298	(2部経費)
第2部	-	32,709
保健衛生施設整備費	-	32,709
障がい者支援計画及び障がい福祉計画の策定	(1部経費)	148
総合福祉システム（福祉五法システム）改修等経費	(1部経費)	1,123
マイナンバー制度にかかる総合福祉システム改修経費	(1部経費)	29,646
恵美須倉庫売却経費	(1部経費)	1,792
計	11,543,947	10,756,145

第2 事業実績

大阪市こころの健康センターでは、精神保健福祉センターの機能に加えて、精神保健および精神障がい者福祉に対する行政機能を総合的、一体的に有している。すなわち精神保健福祉法第6条及び精神保健福祉センター運営要領で定める業務の他に、措置入院の診察・移送などの業務や、精神保健福祉審議会の運営などいわゆる精神保健福祉主管課業務についても実施している。

1 精神保健福祉センター業務

(1) 技術指導及び技術援助

大阪市内には、各区に1か所、合計24か所の保健福祉センターがあり、これらは市民や精神障がい者のさまざまな相談に対応するなど地域精神保健福祉行政の第一線機関である。また精神障がい者の地域生活を支援している各機関も精神保健福祉サービスと関わる重要な機関である。当センターは、これら保健福祉センターや関係機関に対し、専門的立場からさまざまな形で積極的な技術支援および技術援助を行っている。

関係機関への技術援助（講師派遣）

保健福祉センターや関係機関等からの依頼に対し、講師の派遣を行った。

年月日	依頼元	対象者	内容	参加者数
28.3.8	健康局	職員	職場のメンタルヘルス	30名

(2) 教育研修

ア 精神保健福祉関係職員研修

各区の保健福祉センター及び大阪市こころの健康センターの精神保健福祉相談員や事務担当職員を対象に精神障がい者の理解を深め、最新の専門的な情報や技術を習得することを目的とした研修を実施し、職員の資質の向上を図るとともに地域精神保健福祉の活動及び向上に繋げる。

(ア) 新任研修

年月日	講義内容	講師	参加者数
27.4.24	精神保健福祉法と大阪市の精神保健福祉行政について	こころの健康センター 精神保健医療担当課長 小寺 誓	19名
	精神医療適正化事業	こころの健康センター 担当係長 合田 恵子	
	保護申請（22条）警察官通報（23条）移送制度（34条）市長同意事務手続き 救急医療システム	こころの健康センター 担当係長 坂本 裕子 安田 美登里	
	自立支援医療・精神障がい者福祉手帳について	こころの健康センター 担当係長 三田 敦弘	
	統合失調症・うつ病を中心に障がいと疾患について 通報における自傷他害性について	こころの健康センター 所長 田中 政宏	

	心神喪失者医療観察法について 精神障がい者地域移行支援について	こころの健康センター 保健副主幹 松本直美	
	薬物相談について	こころの健康センター 担当係長 大畑有紀	
27.4.27	地域精神保健福祉活動について 危機介入について	こころの健康センター 保健主幹 熊谷由喜子	17名
	こころの健康センターにおける精神 保健福祉業務の実際について	こころの健康センター 担当係長 三浦久美子	
	保健福祉センターにおける業務	こころの健康センター 担当係長 植田高子	
27.4.30	精神保健福祉相談・社会復帰相談指導 事業等の事務手続きについて	こころの健康センター 山岡卓	16名
	自殺対策について	こころの健康センター 精神保健医療担当課長代理 西岡隆	
	思春期相談 ひきこもり相談 自死遺族相談 SST等について	こころの健康センター 臨床心理職員 土屋孔明	
	月報について	こころの健康センター 担当係長 植田高子	
27.5.1	自殺未遂者相談支援事業	こころの健康センター 担当係長 三浦久美子	7名
	問題解決技法	こころの健康センター 担当係長 植田高子 こころの健康センター 臨床心理職員 土屋孔明	

(イ) 新任精神保健福祉関係職員フォロー研修

年月日	講義内容	講師	参加者数
28.1.18	アルコール関連問題のアセスメントと介入の方法について	こころの健康センター 保健主幹 熊谷 由喜子	6名
	各区精神保健福祉関連業務の現状と課題及び今後の方策	こころの健康センター 保健主幹 熊谷 由喜子 こころの健康センター 担当係長 坂本 裕子	
28.2.5	ケアマネジメント実践におけるアセスメントの意義と方法	こころの健康センター 保健主幹 熊谷 由喜子	6名
	事例検討	こころの健康センター 担当係長 三浦 久美子 こころの健康センター 担当係長 坂本 裕子	

(ウ) 現任研修(全体研修)

精神保健福祉の最近の動向について講義研修を実施した(精神保健福祉関係人材養成研修と合同で実施)。

年月日	講義内容	講師	参加者数
27.7.7	薬物依存症の精神科医療	久米田病院 副院長 狩山 博文	47名
27.9.25	災害時のこころのケア	兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授 岩井 圭司	46名
27.10.30	アルコール依存症の家族支援	新生会病院 精神保健福祉士 小仲 宏典	61名
27.12.11	統合失調症患者の認知機能リハビリテーション	大阪府立精神医療センター 総合治療科 主任部長 岩田 和彦	48名
28.1.29	パーソナリティ障害の理解と対応	佛教文学 社会福祉学部 社会福祉科 教授 篠原 由利子	51名

(エ) 現任研修(業務の課題を解決するための研修)[対象 精神保健福祉相談員]

A 北・西グループ

年月日	講義内容	講師
27.8.10	家族支援の視点とアセスメントシートの改良	京都ノートルダム女子大学 准教授 佐藤 純
27.12.14	家族支援の視点とアセスメントシートの改良	

B 中央・東グループ

年月日	講義内容	講師
27.10.20	家族心理教育 ～問題解決技法の実践 振り返りと評価～	大阪府立精神医療センター 医師 齊 藤 円
27.12.14	今後の家族心理教育(問題解決技法)の効果的な実践にむけて まとめ	

C 南グループ

年月日	講義内容	講師
27. 9.11	家族支援の技量向上について	京都ノートルダム女子大学 准教授 佐 藤 純
27.12. 9	研修まとめ	

D 合同(北・西、中央・東、南グループ)〔対象 精神保健福祉相談員、保健師〕

年月日	講義内容	講師
27. 8. 3	家族心理教育 ～問題解決技法を用いたグループセッションの進め方～	名古屋市立文学看護学部 精神保健看護学 教授 香 月 富士日

(オ) 現任研修(事例検討を中心とした研修)〔対象 精神保健福祉相談員、保健師〕

A 北・西グループ

年月日	講義内容	講師
27. 7.13	処遇困難事例への対応について	
27. 9. 2	統合失調症の事例を通して学ぶ	にじクリニック病院 医師 西 浦 竹 彦
27.10. 9	依存症臨床からの回復支援について事例を通して学ぶ	大阪マック 上中別府 四朗
27.11. 9	摂食障がいについて事例を通して学ぶ	なにわ生野病院 医師 生 野 照 子
28. 2.24	双極性障がいについて事例を通して学ぶ	ほくとクリニック病院 医師 深 尾 晃 三
28. 3.14	処遇困難事例への対応について	

B 東・中央グループ

年月日	講義内容	講師
27. 7.30	摂食障がい理解とその事例への対応	なんばながたメンタルクリニック 医師 永田利彦
27. 9. 7	コミュニケーション障がい事例への個別支援について	かく・にしかわ診療所 精神保健福祉士 野崎健太郎
27.11.24	双極性障害の理解とその事例への対応	かつもとメンタルクリニック 医師 勝元栄一
28. 1.28	高齢者の精神疾患についての理解とその事例への対応	ほくとクリニック病院 医師 深尾晃三
28. 2. 8	処遇困難事例への対応について	
28. 3.14	処遇困難事例への対応について	

C 南グループ

年月日	講義内容	講師
27. 7.15	思春期の精神保健の理解とその事例への対応	
27.10.14	アルコール依存症への対応と支援のあり方	やまもとクリニック 医師 山下仰
27.11. 9	アディクションの家族支援	小谷クリニック 精神保健福祉士 山本哲也
28. 1.19	統合失調症についての理解を深め、支援方法を学ぶ	京都府立大学 准教授 山野尚美
28. 2.10	処遇困難事例への対応について	国分病院 医師 平岡幸栄
28. 3. 9	今年度中に検討した事例について、その後の経過報告及び振り返り	

(カ) 新任期保健師精神保健福祉研修

保健福祉センターの新任期の保健師を対象に、実践経験を基にさらに精神障がい者の理解を深め、より専門的・具体的な生活支援や個別援助に必要な知識や技術を学ぶことを目的とした研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
28. 1.27	オリエンテーション		13名
	講義「統合失調症・感情障がいの疾患理解と支援について」	こころの健康センター 所長 田中政宏	
	講義「アセスメントの意義と方法・社会資源の利用、地域生活支援について」	こころの健康センター 担当係長 植田高子	
	精神障がい者の理解と支援～当事者の話から社会復帰への支援を学ぶ～	こころの健康センター 保健副主幹 松本直美 ピアサポーター	
	事例検討(グループワーク) 発表・まとめ	こころの健康センター 担当係長 三浦久美子 こころの健康センター 担当係長 大畑有紀	
28. 2. 6	講義「自殺未遂者相談支援について～事例を通して考える～」	こころの健康センター 担当係長 三浦久美子	13名
	講義「大阪市の精神保健福祉業務について」	こころの健康センター 担当係長 大畑有紀	
	講義「アルコール関連問題の介入と支援について」	こころの健康センター 保健主幹 熊谷由喜子	
	事例検討(グループワーク) 発表・まとめ	こころの健康センター 担当係長 植田高子 こころの健康センター 担当係長 大畑有紀	

(キ) 思春期関連問題支援者向け研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師、市立学校教職員を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
27.12.8	インターネット依存障がいの病態と治療について	大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 講師 片上素久	106名

(ク) 薬物関連問題従事者研修(「薬物乱用防止に関わる教職員研修」)

全市校園の養護教諭・保健主事を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
27. 11.10	薬物乱用と依存 薬物関連問題相談事業について	こころの健康センター 所長 田中政宏 こころの健康センター 担当係長 植田高子	325名

(ケ) ゲートキーパー専門研修

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材(ゲートキーパー)の育成として、精神保健福祉相談員・保健師、査察指導員・生活保護ケースワーカー、地域包括支援センター職員を対象に専門研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
27. 11.10	救命救急センターを有する総合病院の活動紹介 事例検討	国立病院機構 大阪医療センター 医療ソーシャルワーカー 太田裕子	22名
27. 11.18	救命救急センターを有する総合病院の活動紹介 事例検討	大阪府立急性期・総合医療センター 精神保健福祉士 谷口尚子	23名

(コ) ゲートキーパー専門研修(危機介入編)

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材(ゲートキーパー)の育成として、精神保健福祉相談員・保健師、査察指導員・生活保護ケースワーカー、地域包括支援センター職員を対象に危機介入の研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
27.10.7	自殺危機初期介入スキル研修 自殺危機初期介入スキル研究会	こころの健康センター 担当係長 合田恵子 こころの健康センター 担当係長 三浦久美子	24名
27.10.28	自殺危機初期介入スキル研修 自殺危機初期介入スキル研究会	こころの健康センター 担当係長 大畑有紀 こころの健康センター 臨床心理職員 土屋孔明	23名

(サ) 自殺未遂者相談支援事業従事者研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
28.2.19	事例検討 自殺未遂者相談支援事業のおさらい 事例より学ぶこと 効果的な自殺未遂者対策とは 平成26年度上半期の事業報告より	こころの健康センター 担当係長 三 浦 久美子 こころの健康センター 担当係長 大 畑 有 紀	22名

(シ) ひきこもり相談窓口事業研修会

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
27.8.19	精神科からみたひきこもり ひきこもり相談窓口事業について 他	大阪市立大学大学院 医学研究科 神経精神医学 講師 宮 脇 大 こころの健康センター 臨床心理職員 土 屋 孔 明	26名
27.9.1	CRAFT によるひきこもりの家族支援	徳島大学大学院 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 准教授 境 泉 洋	31名

イ 精神保健福祉関係 人材養成研修

(ア) 現任研修 全体研修 と合同で実施

訪問看護・居宅支援事業者、精神保健福祉施設等で精神保健福祉業務に従事する職員の資質および技術の向上を目的に専門的な研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
27. 9.25	災害時のこころのケア	兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授 岩 井 圭 司	7名
27.12.11	統合失調症患者の 認知機能リハビリテーション	大阪府立精神医療センター 総合治療科 主任部長 岩 田 和 彦	13名

(イ) アルコール関連問題に係る支援者育成事業

アルコール依存症は自殺のハイリスク群とされており、自殺防止の支援のために、医療機関・地域包括支援センター・訪問看護ステーション・断酒会・AA・アルコール関連作業所等及びアルコール関連問題にかかる支援者、当事者や家族を対象に、研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
27.8.28	自助グループ活動紹介及び体験談 事例検討「飲酒による転倒で救急搬送された単身高齢者の支援について」	新生会病院 精神保健福祉士 小 仲 宏 典	30名
27.10.23	アルコール依存症への対応 ～内科医の立場から～ 事例検討「連続飲酒の女性アルコール依存症者の支援について」	小谷クリニック 院長 小 谷 陣	59名
27.12.18	アルコール問題を抱える人への 対応について 事例検討「近隣とトラブルにて頻繁に警察に通報されるアルコール依存症者の対応について」	新生会病院 精神保健福祉士 小 仲 宏 典	36名
28.1.22	認知症のアルコール依存症について 事例検討「アルコール問題のある介護保険利用高齢者の支援者間連携について」	新生会病院 院長 和 気 浩 三	39名

ウ 大阪府 精神保健福祉業務従事者研修

大阪府の実施する研修の企画と運営に協力し、研修の参加について、大阪市精神保健福祉関係職員への周知を行った。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
27.10.5	自死遺族相談従事者養成研修 「複雑性悲嘆の理解とその対応」	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター 新 明 一 星	39名 (うち大阪 市からの 参加者は 14名)

(3) 普及啓発

市民に対する精神保健福祉に関する知識や精神障がいについての正しい知識などの普及啓発を行った。

ア こころの健康講座

市民のこころの健康づくりを推進するために、こころの健康をテーマに講演会を実施した。

年 月 日	講 座 内 容	講 師	参加者数
27.7.1	うつに寄り添う ～かわりのヒント～	石田クリニック 院長 石 田 徹	48名
27.9.8	統合失調症について知ろう ～医師の話と当事者の体験談～	ピアサポーター 2名(匿名) こころの相談ネット ふうが 施設長 高 橋 爾 大阪市こころの健康センター 所長 田 中 政 宏	65名
27.10.29	パニック症ってなに？	稲田クリニック 院長 稲 田 泰 之	44名
27.11.16	眠れぬ夜の睡眠よもやま話	JR大阪鉄道病院 精神神経科 部長 江 村 成 就	29名
28.1.21	よくわかる双極性障がい	かつもとメンタルクリニック 院長 勝 元 榮 一	51名

イ こころのボランティア講座

精神障がい者の地域生活を支援する精神保健福祉ボランティアをはじめ、精神保健分野で活動する支援者を対象に、育成支援・精神保健福祉についての普及啓発を目的に講座を開催した。なお、今年度についても「こころの健康講座」と共催した。

ウ ひきこもり市民講座

市民や学校関係者等のひきこもりへの理解を深めることを目的として、2回の市民講座を開催した。

年 月 日	講 座 内 容	講 師	参加者数
27.10.21	ひきこもり ～精神科医の視点から～	大久保クリニック 院長 大久保 圭策	37名
27.11.13	ひきこもり大学 in こころの健康センター セルフヘルプグループ学科	NPO法人 わかもの国際支援協会 顧問理事 横山 泰三 ひきこもり当事者活動家 もん ぼう ぼう 聞 風 坊	55名

エ 思春期関連問題市民講座

思春期の子どもを持つ親、市民、教職員などを対象に、思春期のこころの健康についての普及啓発を目的に講座を開催した。

年 月 日	講座内容	講 師	参加者数
28. 1.26	性別違和（性同一性障がい）について 知ろう	関西医科大学 精神神経科学講座 助教（医師） 織田 裕行 関西医科大学 精神神経科学講座 助教（臨床心理士） 吉野 真紀	39名
28. 2.25	摂食障がいは治ります	なんばながたメンタルクリニック 院長 永田 利彦	42名

オ 薬物乱用防止対策事業

覚せい剤、シンナー、危険ドラッグなどの薬物乱用防止にかかる普及啓発を目的に、高等学校の薬物乱用防止講座に講師を派遣した。

年月日	開催校	対象者	参加者数
27. 11.5	市立中央高等学校	生徒・教員	291人

各区で実施される「成人式の日記念のつどい」に参加する新成人に対して薬物乱用防止啓発用リーフレットを配布している。

年月日	リーフレット名	対象者	配付数
28.1.11	YES TO LIFE, NO TO DRUGS	新成人	18,000部

(4) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障がい者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究をするとともに、必要な統計及び資料を収集整備した。

(5) 技術支援

ア 関係機関への一般相談

各区の保健福祉センターや関係機関における対応困難事例について、精神科医師や精神保健福祉相談員・臨床心理職員などが相談、支援を行っている。

平成27年度関係機関への一般相談状況

1. 相談件数 (件)

4月	120
5月	102
6月	117
7月	171
8月	105
9月	133
10月	152
11月	128
12月	156
1月	48
2月	126
3月	47
合計	1,405

2. 新規・再相談の別 (件)

新規相談	482
今年度新規相談	10
今年度再相談	913
合計	1,405

3. 対象者の性別 (人)

男性	908
女性	472
不明	25
合計	1,405

4. 年齢別 (人)

10歳未満	1
10歳～12歳	2
13歳～15歳	3
16歳～18歳	15
19歳～20歳	14
21歳～29歳	155
30歳～39歳	238
40歳～49歳	375
50歳～59歳	316
60歳～69歳	148
70歳～79歳	70
80歳以上	2
不明	66
合計	1,405

5. 相談手段 (件)

電話相談	1,380
こころに来所相談	21
保健福祉センター面接	1
訪問相談	3
合計	1,405

6. 相談業務従事者 (人)

医師	1
PSW	1,387
心理職員	5
事務職員	3
その他	9
医師・心理職	0
医師・心理職・PSW	0
医師・PSW	0
心理職・PSW	0
合計	1,405

7. 相談内容 (件)

治療に関して	34
医療機関紹介	9
情報に関して	22
でかける相談	9
医療・手帳関係	0
通報関係	1,111
制度の問題	10
近隣トラブル	15
本人への対応	148
その他	47
合計	1,405

8. 相談経路 (件)

保健福祉センター	281
支援課(生保)	5
医療機関	17
社会復帰施設	0
教育機関	0
社会福祉施設	1
老人保健施設	0
児童福祉施設	0
関係団体	922
その他	179
合計	1,405

9. 相談種別 (件)

老人保健	11
社会復帰	20
アルコール	7
病気に関する問題	1,044
心の健康づくり	39
薬物関連問題	104
思春期問題	10
うつ・うつ状態	17
DVに関して	0
ギャンブル	1
ひきこもり	3
自殺関連	17
犯罪被害	0
災害	0
発達障がい	12
その他	120
合計	1,405

10. 援助の方法 (件)

所内カンファレンス	10
地域・外部カンファレンス	0
地域支援会議等参加	1
相談員等に個別支援	38
GW・教室等支援	0
関係機関紹介	2
情報提供	18
助言	1,145
その他	191
合計	1,405

イ でかけるチーム精神保健相談

地域における精神保健福祉相談での複雑困難事例に対応するため、各区の保健福祉センターからの要請に基づき、こころの健康センターの専門職員によるチームを編成し、各区にでかけて事例検討、訪問及び面接等の専門的な技術援助・支援を行い、もって地域の精神保健福祉活動の向上を図っている。

平成27年度でかけるチーム精神保健相談

	電話相談	面接相談	家庭訪問	ケース会議	合計
男性	8	0	2	6	16
女性	17	0	1	6	24
合計	25	0	3	12	40

ウ 個別支援

市民の個別相談については、原則、各区保健福祉センターで対応しているが、直接、個別にこのころの健康センターに相談があった事例については、以下のように対応し、必要に応じて各区の保健福祉センターに引き継ぎ継続支援を行っている。

平成27年度個別支援状況

1. 相談件数 (件)		5. 相談手段 (件)		9. 相談種別 (件)	
4月	61	電話相談	637	老人保健	2
5月	36	こころに來所相談	25	社会復帰	5
6月	55	訪問相談	2	アルコール	6
7月	67	合計	664	病気に關する問題	465
8月	46			心の健康づくり	58
9月	54	6. 相談業務従事者 (人)		薬物關連問題	29
10月	65	医師	0	思春期問題	7
11月	59	相談員	618	うつ・うつ状態	24
12月	76	心理職員	42	DVに關して	4
1月	41	事務職員	4	ギャンブル	5
2月	66	医師・相談員	0	その他	59
3月	38	医師・心理	0	合計	664
合計	664	医師・心理・相談員	0		
		その他	0	10. 援助の方法 (件)	
2. 新規・再相談の別 (件)		合計	664	助言	559
新規相談	336	7. 相談内容 (件)		關係機關紹介	62
今年度新規相談	8	治療に關して	46	保健福祉センターのフォロー	10
今年度再相談	320	医療機關紹介	46	その他	33
合計	664	情報に關して	27	合計	664
3. 対象者の性別 (人)		制度の問題	9	11. 相談区 (件)	
男性	379	本人への対応	126	北	26
女性	284	その他	410	都島	29
不明	1	合計	664	福島	13
合計	664	8. 相談経路 (件)		此花	6
4. 年齢別 (人)		保健福祉センター	36	中央	18
10歳未満	0	支援課(生保)	4	西	28
10歳～12歳	1	医療機關	19	港	5
13歳～15歳	2	社会復帰施設	2	大正	8
16歳～18歳	10	教育機關	0	天王寺	3
19歳～20歳	5	社会福祉施設	1	浪速	23
21歳～29歳	68	老人保健施設	0	西淀川	40
30歳～39歳	121	児童福祉施設	0	淀川	31
40歳～49歳	149	關係団体	392	東淀川	32
50歳～59歳	128	その他	210	東成	8
60歳～69歳	50	合計	664	生野	19
70歳～79歳	18			旭	13
80歳以上	1			城東	19
不明	111			鶴見	11
合計	664			阿倍野	8
				住之江	20
				住吉	35
				東住吉	21
				平野	18
				西成	97
				不明	72
				市外	43
				市内だが不明	18
				合計	664

(6) 精神保健福祉相談

ア 思春期関連問題相談

思春期は心身の変化が著しく、対人関係の悩みやストレスによる身体の症状などの問題が生じやすく、様々な不安や葛藤等に端を発して、精神障がい（統合失調症・うつ病・摂食障がい・社交不安障がい・強迫性障がい等）を引き起こしやすいことが知られている。思春期関連問題としては、不登校、家庭内暴力、非行、摂食障がい、自傷行為、性に関する問題等があり、いずれの問題も非常に複雑であることから一筋縄の対応ではうまくいかないことが多い。また、これらの問題に加えて、近年ではインターネット依存やいじめによる自殺等も大きな問題となってきた。これらに対応するため、平成12年10月から、専門の精神科医師、臨床心理職員等による個別相談を予約制で、大阪市こころの健康センターにおいて実施している。

平成27年度 思春期関連問題相談実施状況

相談件数 (件)

	合 計
実件数	33
延件数	44

対象者の内訳 (実件数)

(人)

年齢	～12	13～15	16～18	19～20	21～	合 計
男 性	1	7	5	0	0	13
女 性	5	5	10	0	0	20
合 計	6	12	15	0	0	33

相談内容 (実件数)

(人)

年齢	～12	13～15	16～18	19～20	21～	合 計
不 登 校	1	4	5	0	0	10
ひきこもり	0	0	1	0	0	1
摂食障がい	0	0	0	0	0	0
精神疾患疑い	2	3	1	0	0	6
情緒不安定	0	2	0	0	0	2
発達障がい	0	0	6	0	0	6
そ の 他	3	3	2	0	0	8
合 計	6	12	15	0	0	33

その他、思春期関連問題について、各区保健福祉センターへの技術援助を行っている。

イ 薬物関連問題相談

覚せい剤等薬物の乱用、とりわけ低年齢層の薬物乱用や、危険ドラッグの乱用者が犯罪や重大な交通死亡事故を引き起こす事案が後を絶たず、社会問題となっている。一方、薬物関連問題についての専門相談機関は極めて少ない状況にある。このような状況の中、大阪市こころの健康センターでは、平成 12 年 10 月から専門の精神科医師による薬物関連問題相談（予約制）を実施している。

【平成 27 年度 薬物関連問題相談実施状況】

相談件数 (人)

	男性	女性	合計
実件数	15	8	23
延件数	23	18	41

対象者の内訳 (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	0	3	6	4	2	0	15
女性	1	4	2	1		0	8
合計	1	7	8	5	2	0	23

相談者別（重複あり） (人)

本人	12
配偶者	3
両親	15
兄弟・姉妹	0
その他（知人、支援者など）	41

薬物の種類（重複あり） (人)

覚せい剤	25
大麻	0
有機溶剤	1
危険ドラッグ	9
その他（睡眠薬、抗精神薬など）	7

主な相談内容

・ 家族の対応の仕方について	・ 薬物依存症はどんな病気か
・ 薬物依存症の治療について	・ 治療につなげるにはどうしたらよいか
・ 本人への治療指導を希望	・ 退院後の処遇について
・ 断薬継続のための生活上の注意について	・ 家族間の調整
・ 地域支援に向けての処遇検討	など

8.援助方法(複数回答) (件)

助言	762
他機関紹介	287
傾聴	1,156
その他	69
合計	2,274

(7) 自殺防止対策事業

全国の自殺者数は平成10年に急増し3万人を超えて以来、連続して3万人を超える状態が続いていた。平成24年は15年ぶりに3万人を下回り、平成25年、平成26年と3年連続で3万人を下回ったが、依然として多い状況には変わらない。国は自殺対策基本法に基づく自殺対策の指針である「自殺総合対策大綱」を策定し、その中で地方公共団体をはじめ、医療機関、民間の団体等との密接な連携を図りつつ総合的に自殺対策を推進していくこととしている。

また、平成21年4月に発表された「経済危機対策」の具体的施策の中で、都道府県に当面3年間の対策に係る「地域自殺対策緊急強化基金」を造成(その後の補正予算で基金を積み増し、平成26年度まで延長。)し、平成26年度補正予算において同基金の対象を一部限定しつつ、新たに地域自殺対策強化交付金を設けて、地域における自殺対策力を強化してきた。

大阪市の平成27年の自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺死亡者数。人口動態統計。)は21.3と政令指定都市の中では最も高い値になっており、これらの状況を受け自殺防止対策として次の事業を行っている。

ア 自死遺族相談

平成19年11月から「自死遺族相談」を開設し、自死遺族に対して臨床心理士・精神保健福祉相談員による面接相談を実施している。

相談実施日 第1・第3金曜日、第2・第4木曜日(予約制)

平成27年度実施状況(平成27年4月～平成28年3月)

実人数15名 延相談数57件

イ 自殺未遂者相談支援事業

自殺には多様かつ複雑な原因・背景があり、自殺未遂者を支えるためには心身の健康から社会的支援まで総合的・複合的な取り組みが必要なことから、平成21年11月から自殺未遂者への相談支援を開始した。

本事業は、警察署で自殺未遂者として取り扱った方の相談に応じ、精神科医療の必要な方は医療に繋ぎ、また心理的に追い込まれ、視野狭窄に陥るなど一時的に理解・判断ができなくなっている方に対して傾聴相談を行い適切な関係機関に繋ぎ、更なる自殺行為を防ぐことを目的とする。

開始時は市内4区(東淀川・港・城東・住吉)で試行実施し、平成22年7月から12区(前述に加え淀川・生野・鶴見・阿倍野・住之江・東住吉・平野・西成)に拡充し、平成23年1月から市内全域を対象に実施している。また、平成25年1月からは、大阪府全域で実施している。

平成27年度実施状況 受理延件数 274件

ウ ゲートキーパーの養成

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として、大阪府内の大学に在学する大学生等に研修を実施している。

ゲートキーパー養成研修

年 月 日	内 容・講 師	対 象 者	参加者数
27.6.24	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	関西福祉科学大学	45名
27.7.15	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪府立大学	106名
27.7.21	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪教育大学	19名
27.11.26	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	四天王寺大学	11名
27.12.14	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪国際大学	13名

エ 自殺予防週間の取り組み

9月10日～16日の「自殺予防週間」にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

1. 自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：平成27年9月10日（木）午前8時～9時
- 2) 場 所：京橋駅前、他府内市町村主要駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、堺市、府内市町村、大阪府自殺対策連絡協議会

2. 集中電話相談

- 1) 期 間：平成27年9月10日（木）～平成27年9月30日（水）（24時間受付）
（9月10日（水）は午前9時から開始、9月30日（水）は午後9時で終了）
- 2) 内 容：自殺に関する相談やこころの健康に関する相談をおこなう24時間の集中電話を設置
- 3) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

オ 自殺対策強化月間の取り組み

「自殺対策強化月間」（3月）にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

1. 自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：平成28年3月1日（火）午前8時～9時

- 2) 場 所：京橋駅前、他府内市町村主要駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、堺市、府内市町村、大阪府自殺対策連絡協議会

2. 集中電話相談

- 1) 期 間：平成28年3月1日(火)～平成28年3月31日(木)(24時間受付)
(3月1日(火)は午前9時から開始、3月31日(木)は午後9時で終了)
- 2) 内 容：自殺に関する相談やこころの健康に関する相談をおこなう24時間の集中電話を設置
- 3) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

カ うつ病予防の普及啓発

各種パンフレット等を作成し、「こころの健康問題」に対する意識の高揚を図っている。

キ うつ病の家族教室

家族が正しい知識を学び、病気を理解し、本人への接し方を考えるためのうつ病の家族教室(1クール2回を2クール)を開催した。また、うつ病家族の自助グループの育成を目指し、継続して交流会を行っている。

実施状況

第1クール	実人数	22名	延参加者数	35名
第2クール	実人数	21名	延参加者数	37名

交流会(平成27年4月～平成28年3月)

実人数	10名	延参加者数	74名
-----	-----	-------	-----

ク 大阪市自殺対策検討連絡会議

平成21年3月から大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会と大阪市関係各担当が連携して自殺対策を推進し、施策等について協議・検討するため、大阪市自殺対策検討連絡会議を開催している。

第13回(平成28年1月29日 大阪市役所地下1階 第8共通会議室)

- ・平成26年中における大阪市の自殺の状況
- ・平成26年と平成25年中における大阪市の自殺の状況比較
- ・各所属の自殺防止対策の取り組みについて
- ・講演「うつ・うつ病・新型うつ病」
- ・その他

(8) ひきこもり相談窓口事業

「ひきこもり」は様々な要因の結果として、就学や就労などの社会的参加を回避し、自宅以外での生活の場が長期にわたり失われている状態である。現在ひきこもり状態にある子どもがいる世帯は、全国で約26万世帯と推計され、大きな社会問題となっている。

大阪市では、こころの健康センターにおいて、平成21年度よりひきこもり地域支援センターの運営を開始し、ひきこもり問題の早期発見・早期対応のため、情報把握、精神保健医療等のサービスの必要性の判断、必要な支援機関につなぐ等の支援を行い、ひきこもりの一次相談窓口や情報発信、関係機関との連携など、ひきこもりの相談を実施するとともにその推進を図っている。

また、対象者の相談内容等に応じた適切な支援を行うことができるよう、事例検討会や関係局会議を開催している。

ひきこもり電話相談 開設時間：平日の午前10時～正午
電話相談後、必要に応じ面接・訪問を行っている。

ア 平成27年度ひきこもり電話相談件数

1. 電話相談内訳

	件数	うち新規
電話相談	448	167

2. 当事者の性別

性別	件数
男性	366
女性	76
不明	6
合計	448

3. 相談者の続柄内訳

続柄	件数
当事者本人	85
親	291
配偶者	1
子ども	0
兄弟姉妹	45
その他	26
合計	448

4. 当事者の年齢

年齢	件数
10歳代	48
20歳代	207
30歳代	76
40歳代	60
50歳代以上	30
不明	27
合計	448

5. 相談種別

相談内容	件数
不登校	14
ひきこもり(第1群)	194
ひきこもり(第2群)	116
ひきこもり(第3群)	23
ひきこもり(その他)	30
その他	71
合計	448

6. 相談後の処遇

処置	件数
助言	91
他機関紹介	85
傾聴	14
面接予約	131
その他	127
合計	448

イ 平成27年度ひきこもり面接相談件数(74件)

1. 面接相談者の続柄

	件数
ひきこもり本人	9
親	87
配偶者	0
子ども	0
兄弟姉妹	4
その他	3
合計	103

2. 面接の種別

	件数
不登校	2
ひきこもり(第1群)	41
ひきこもり(第2群)	20
ひきこもり(第3群)	1
ひきこもり(その他)	6
その他	4
合計	74

3. 面接結果

	件数
助言	6
他機関紹介	10
面接予約	43
アウトリーチ予約	1
他機関との連携	1
その他	13
合計	74

ウ 平成 27 年度ひきこもりアウトリーチ（訪問支援）件数（5 件）

	10 代	20 代	30 代	40 代以上	合 計
男性	2	3	0	3	8
女性	0	0	0	1	1
合 計	2	3	0	4	9

(9) 薬物依存症者等ケア強化事業

「あいりん地域を中心とした環境整備」(5 か年計画) の一環として、平成 26 年度から大阪府と協働し、薬物依存症者等に特化した集中的な取り組みを実施している。

1) 専門的なケアの強化

依存症治療拠点機関設置運営事業（大阪府単独実施）

当事者支援専門プログラム事業（本市・大阪府共同実施）

家族心理教育事業（本市・大阪府共同実施）

2) 専門研修

関係機関職員専門研修事業（大阪府単独実施）

医療機関職員専門研修事業（大阪府単独実施）

3) 社会復帰支援の強化

地域における断薬継続促進事業（本市単独実施）

当事者支援ネットワーク検討会議（大阪府単独実施）

本市としては、以下の事業を実施している。

ア 家族心理教育事業

薬物関連問題(依存症) に悩む人たちを支える家族のための教室(3 回コース) を開催した。

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
28. 2. 17	薬物依存症と家族の対応について	三重県立こころの医療センター 医長 長 徹 二	4 人
28. 3. 8	C R A F T を用いた 家族の対応について	藤井クリニック 精神保健福祉士 社会福祉士 小 野 史 絵	4 人
28. 3. 22	C R A F T を用いた 家族の対応について	藤井クリニック 精神保健福祉士 社会福祉士 小 野 史 絵	5 人

イ 地域における断薬促進モデル事業

平成 28 年度から実施に向け、検討を進めている。

(10) 組織の育成

地域精神保健福祉の向上を図るため、保健福祉センターにおいて、各区の自助組織・家族会・ボランティア等の育成に努めているが、これに協力するとともに、広域的な組織の育成に努めている。

(11) 精神医療審査会

平成8年4月からの精神保健福祉法の大都市特例の施行に伴い、同法第12条に基づき、大阪市精神医療審査会を設置し、平成12年4月の大阪市こころの健康センター設立により、その事務局を同センターに置いた。精神医療審査会は10名の委員で構成され2つの合議体に区分し、定期病状報告書等の審査及び退院・処遇改善請求等の審査を行い、精神科病院入院患者の適正な医療及び保護の確保に努めている。

ア 開催状況

全体会議	平成28年 3月28日
合議体 審 査	平成27年 4月16日
	平成27年 5月15日
	平成27年 6月18日
	平成27年 7月17日
	平成27年 8月20日
	平成27年 9月18日
	平成27年10月15日
	平成27年11月20日
	平成27年12月17日
	平成28年 1月15日
	平成28年 2月18日
	平成28年 3月18日

イ 入院届・定期病状報告の審査状況

(件)

		医療保護入院者の入院届	医療保護入院者の定期病状報告	措置入院者の定期病状報告	合 計
審 査 件 数		771	2	22	795
結 果	現入院形態が適当	771	2	20	793
	他の入院形態へ移行	0	0	2	2
	入院の必要なし	0	0	0	0

ウ 退院・処遇改善請求の審査状況

(件)

請求件数		結果	
退院請求 (うち処遇改善請求を含む)	22 (10)	現入院形態が適当	6
		他の入院形態へ移行	2
		取り下げ等	14
処遇改善請求 (単独)	0	現処遇が適当	0
		現処遇が不適当	0
		取り下げ等	0

エ 実地審査状況

入院後概ね3か月を経過した措置入院患者及び実地審査の必要があると認められた医療保護入院患者等を対象に、病状及び措置に関する実地審査を実施し、精神障がい者の人権尊重を基本とした適正な医療の確保に努めている。

(件)

	審査件数	結果		対象となった 病院数
		現入院形態が適当	他の入院形態へ移行	
措置入院	10	9	1	5
医療保護入院	5	5	0	5
任意入院	7	7	0	6
合計	22	21	1	16

(12) 大阪市自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査委員会の運営(委員数7名)

平成18年4月1日に精神保健福祉審議会の部会として設置し、平成21年8月1日からは、組織を独立させ、審査会議として設置要綱を制定し、さらに、平成25年4月1日からは執行機関の附属機関に関する条例に基づき、大阪市自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査委員会として設置している。自立支援医療費(精神通院)支給認定、精神障がい者保健福祉手帳の等級判定に係る審査を行う委員会の運営を行っている。

平成27年度開催回数 22回

2 精神保健福祉主管課業務

平成12年4月の大阪市こころの健康センター開設時より、精神保健福祉主管課の業務の一部を実施している。

(1) 精神保健福祉審議会の運営(委員数 15名)

精神保健福祉法第9条第1項及び大阪市精神保健福祉審議会条例に基づき、本市の精神保健福祉施策全般について審議する大阪市精神保健福祉審議会の運営事務を行っている。

第21回 大阪市精神保健福祉審議会

開催日：平成28年3月23日

議 題： 「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について

大阪版新精神科救急体制(精神科合併症支援システム)について

平成28年度精神保健福祉関係予算の概要について

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に向けた本市の取組みについて

その他

(専門部会)

ア 自殺防止対策部会(委員数 10名)

平成20年7月1日に自殺防止対策部会設置要綱を制定し、自殺対策基本法の理念に基づき、市民が「生きやすい社会」の実現を目指し、総合的・効果的な自殺防止対策について審議を行っている。

第17回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

開催日：平成28年3月14日

議 題： 平成26年中における大阪市の自殺の状況及び平成26年中と平成25年中における大阪市の自殺の状況比較

平成27年度の自殺対策の実施状況について

平成28年度の自殺対策の取組みについて

その他

(2) 措置・緊急措置診察（入院）事業

ア 措置診察

精神保健福祉法第27条にもとづく精神保健指定医による措置診察を実施している。措置入院患者の移送については、本市職員が同乗して本市救急車で移送を行っている。

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
措置診察件数 (含む本鑑定)	10	7	7	14	8	10	13	11	14	3	8	11	116
22条申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23条通報	10	7	7	13	7	8	10	11	12	3	7	7	102
24条通報	0	0	0	1	1	2	3	0	2	0	1	4	14
26条等通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
措置入院件数(該当)	8	7	6	12	7	8	12	9	13	3	8	10	103
非該当件数	2	0	1	2	1	2	1	2	1	0	0	1	13
要入院	1	0	1	0	1	2	1	2	0	0	0	0	8
要通院	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	5
医療不要等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 緊急措置診察

夜間・休日の対応については、緊急措置診察受付窓口を大阪府・堺市と共同で設置し、平日夜間は午後5時から翌日午前9時、休日は24時間、警察からの通報を受け付け、待機職員が緊急措置診察業務を行っている。

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
緊急措置診察件数	7	4	7	11	5	6	11	10	8	2	4	5	80
緊急措置入院件数(該当)	5	4	6	10	4	5	10	9	7	1	4	4	69
非該当件数	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	11
要入院	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
要通院	2	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	8
医療不要等	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
緊急措置入院後の措置診察件数	5	4	5	11	4	5	9	9	7	1	4	4	68

(3) 医療保護入院等の移送事業

精神保健福祉法第34条に基づく「医療保護入院等のための移送事業」については平成12年7月から開始した。移送のための診察にあたっては各区の保健福祉センターと大阪市こころの健康センターが合同で事前調査を行っている。移送は本市の救急車で行き、大阪市こころ

の健康センター職員が同乗し、精神障がい者の人権に配慮した医療の確保に努めている。

【平成27年度実績 1件】

(4) 精神障がい者保健福祉手帳の交付

各種の支援サービス利用を可能にし、精神障がい者の社会復帰と社会参加の促進を図るために交付している。

【平成27年度末精神障がい者保健福祉手帳交付者数 29,741名】

(1級 2,721名 2級 16,964名 3級 10,056名)

市営交通料金福祉措置

平成9年10月から、市営の地下鉄・市バス・ニュートラム等の乗車料金を等級に応じた割引を実施しており、手帳所持者に乗車料金割引証または無料乗車証を交付している。

(5) 自立支援医療費(精神通院)の支給認定

障害者総合支援法に基づき精神障がい者の通院医療について、医療費の一部に対し公費負担を行っている。

【平成27年度末・受給者数 54,446名】

【自立支援医療費(精神通院)公費負担額 9,649,074千円】

(6) 精神障がい者地域生活支援広域調整等事業

大阪市では平成14年11月から精神科病院に長期入院中の患者の退院に向けて地域生活移行支援事業を実施してきた。平成18年4月に障がい者自立支援法が成立し、地域生活支援事業のうち精神障がい者退院促進支援事業が都道府県業務となったが、大阪市は大阪府から委託をうけて、市内9か所の地域活動支援センター(生活支援型)の自立支援員やピアサポーターとともに事業を実施してきた。

また、平成20年度に、国による「地域移行支援特別対策事業実施要綱」が制定されたことで、本市も「コーディネーターの配置」「退院促進ピアサポート事業」「体験宿泊推進事業」を特別強化策として実施し、平成21年度には、本事業のさらなる推進を図るために「精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議」を設置した。

平成24年度の障害者自立支援法の改正により地域移行支援が個別給付となっている。

ア 地域移行支援の実施状況

(人)

年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
退 院	13	13	10	13	18	21	19	15	14	16	15
退院に至らず支援中止・中断	0	2	6	1	1	2	2	2	6	10	4
退院に至らず支援継続	23	30	34	34	38	32	26	17	24	18	11
合 計	36	45	50	48	57	55	47	34	44	44	30

イ ピアサポーターによる啓発活動

ピアサポーターは、入院患者や病院関係者に対し地域生活について情報提供することで、入院患者の退院意欲を高めると共に、精神科病院職員の地域移行への士気を高めることで地域移行支援等の利用を促進することを目的として実施している。

精神科病院への啓発

実施日	場 所	対 象 者	参加者数
27. 4.27	岸和田保健所圏域	入院患者	4名
27. 6. 4	青葉丘病院	入院患者	55名
27. 6.18	浅香山病院	入院患者	18名
27. 6.22	岸和田保健所圏域	入院患者	4名
27. 8.31	岸和田保健所圏域	入院患者	5名
27. 9.29	榎坂病院	病院職員	38名
27.10.22	浅香山病院	入院患者	40名
27.10.29	こころあ病院	病院職員	32名
27.11. 9	岸和田保健所圏域	入院患者	5名
27.11.12	浅香山病院	入院患者	30名
27.12.25	浅香山病院	入院患者	32名
28. 1.28	浅香山病院	入院患者	31名
28. 2. 8	国分病院	入院患者	4名
28. 2.29	岸和田保健所圏域	入院患者	4名
28. 3. 4	こころの健康センター	地域移行支援利用者、 病院職員、地域支援者、 ピアサポーター	26名
28. 3.16	八尾こころのホスピタル	入院患者	50名

市民への啓発

実施日	場 所	対 象 者
27. 4. 3	西成区保健福祉センター	患者家族
27. 5.13	大正区保健福祉センター	患者家族
27. 7.15	鶴見区保健福祉センター	患者家族
27. 7.23	住之江区保健福祉センター	患者家族
27. 7.28	東淀川区保健福祉センター	患者家族
27. 9. 8	こころの健康センター	市民
27.10. 2	西区保健福祉センター	ボランティア
27.10. 6	福島区保健福祉センター	ボランティア
27.10.28	生野区保健福祉センター	患者家族
27.11.13	阿倍野区保健福祉センター	患者家族
27.11.13	東住吉区保健福祉センター	患者家族
27.11.20	福島区保健福祉センター	患者家族
27.11.26	都島区保健福祉センター	社会復帰相談指導事業利用者
27.12.10	中央区保健福祉センター	ボランティア
28. 1.21	東成区保健福祉センター	患者家族
28. 2.22	阿倍野区保健福祉センター	ボランティア
28. 2.24	都島区保健福祉センター	患者家族

ウ ピアサポーター交流会

ピアサポーターが当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的とし交流会を行った。

実施日	内 容	場 所	参加者数
27. 6.17	・交流会の運営について ・これからの活動について	こころの健康センター	13名
27. 8.19	・病気の体験談 ・ピアサポーター活動について	こころの健康センター	14名
27.10.21	・啓発活動について ・情報交換	こころの健康センター	16名
28. 1.27	・新任期保健師との交流 ・地域交流会について	こころの健康センター	18名

エ ピアサポーター養成講座

入院患者の退院意欲を高め、社会的入院を解消していくためには、当事者の仲間であるピアサポーターの存在が極めて重要かつ有効である。地域生活移行支援事業を利用して退院し地域生活を送っている精神障がい者等でピアサポート活動を希望する者を対象とし、当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的に養成講座を開催している。平成27年度は7名修了した。

実施日	内 容	講 師
27. 9. 7	ピアサポートの持つ意義と役割	大阪府立大学社会福祉学部 准教授 松田 博幸
27. 9.14	リカバリーについて	大阪府立大学社会福祉学部 准教授 松田 博幸
27. 9.17	退院促進の意義と大阪の精神科病院事情	大阪精神医療人権センター 山本 深雪
27. 9.28	精神科病院でのピアサポーターの関わりと地域での啓発活動	ピアサポーター
27.10. 9	語りの効果	桃山学院大学教授 栄 セツコ
27.10.15	語りの実際	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
27.10.19	語りの実際	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
27.10.27	語りの実践とその評価について	桃山学院大学教授 栄 セツコ

オ 技術支援・コーディネート

内 容	訪問（件）	電話（件）
地域移行ケース相談	0	36
地域移行相談者への事前面接	15	
地域移行相談者ケースカンファレンス	13	
地域移行相談者への継続面接	6	
地域移行ケア会議	4	
病院訪問啓発活動及び連絡調整	21	57
病院啓発講座	19	
聞き取り調査	8	
合 計	86	93

カ 大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議におけるワーキンググループ会議

実施日	内 容	場 所	参加者数
27. 6.26	・社会的入院者の状況について ・今後の取り組みについて	こころの健康センター	7名
27. 7.31	・生活保護担当との連携について ・社会的入院者への対応	こころの健康センター	6名
27. 8.25	・地域生活移行支援事業検討会議の報告 ・精神科病院への聞き取り調査について	こころの健康センター	6名
27. 9.24	・精神科病院のヒアリングについて ・生活保護担当との連携について	こころの健康センター	6名
27.10.30	・生活保護担当との連携について	こころの健康センター	12名
28. 1.28	・精神科病院への聞き取り調査報告 ・生活保護担当との連携について	こころの健康センター	6名
28. 2.26	・生活保護担当との連携について ・地域生活移行支援事業検討会議の報告	こころの健康センター	6名
28. 3.15	・次年度のワーキンググループ会議 について	こころの健康センター	8名

キ 大阪市精神障がい者地域生活移行支援事業検討会

精神障がい者の地域移行支援を効果的に実施し、精神障がい者の社会的入院解消を推進するため、業務の検討を行う。

実施日：平成 27 年 8 月 12 日

議 題： 平成 26 年度 こころの健康センターの取り組み（報告）
平成 27 年度 こころの健康センターの取り組み
平成 26 年度 精神科在院患者調査報告（速報）

実施日：平成 28 年 3 月 25 日

議 題： 平成 27 年度 こころの健康センターの取り組み（報告）
平成 28 年度 こころの健康センターの取り組み

(7) 心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業

重大な他害行為を行った心神喪失者等に対して継続的かつ適切な医療や地域ケアを確保して、その社会復帰を促進することを目的に心身喪失者等医療観察法が平成 17 年に施行された。

こころの健康センターでは、保護観察所および医療機関が定例的に実施するケア会議に出席し、関係機関、各区保健福祉センターが主体的に地域処遇にかかわれるよう技術支援をしている。

平成 17 年 7 月から 27 年度末までの対象者は 78 名で、平成 27 年度末までに医療観察処遇

終了者は55名となっている。

ア 平成27年度医療観察法対象者および支援状況

対象者 :23名

処遇内訳:入院処遇対象者7名 通院処遇対象者16名

疾病別 :統合失調症16名 アルコール依存症1名

覚醒剤後遺症1名 妄想性障がい1名

双極性感情障がい2名 その他2名

ケア会議出席:120回

イ 医療観察法関係研修

実施日:平成27年9月30日

テーマ:医療観察制度について

講師:大阪保護観察所 社会復帰調整官

対象:精神保健福祉相談員

参加者:31名

(8) 精神科救急医療体制整備事業

ア おおさか精神科救急ダイヤルの設置(電話相談)

大阪府・堺市と共同で相談窓口の少ない夜間・休日の時間帯を中心に精神科救急医療の利用などについて、平成14年7月29日から、24時間体制で電話相談に応じることのできる「こころの救急相談」を設置していた。平成27年度より開設時間を夜間・休日に変更し、「おおさか精神科救急ダイヤル」に変更し、「精神障がい者及び家族等からの様々な緊急的な相談に対して、精神保健福祉士等の専門相談員が当該精神障がい者や家族等の不安感などの緩和を図れるよう適切に対応するとともに、必要に応じて精神科救急病院の情報提供を行っている。また、相談内容で医療的な判断等が必要な場合は精神科救急病院の医師の助言を求めて速やかに対応している。

平成27年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）おおさか精神科救急ダイヤル利用状況

（大阪府下全域の合計件数）

(1) 相談利用

種別	件数(件)	割合(%)
新規	5,453	24.3
継続	15,150	67.4
不明	1,878	8.3
合計	22,481	100.0

(2) 利用者

種別	件数(件)	割合(%)
本人	17,524	78.0
家族その他	4,957	22.0
合計	22,481	100.0

(3) 性別

種別	件数(件)	割合(%)
男	9,529	42.4
女	11,916	53.0
不明	1,036	4.6
合計	22,481	100.0

(4) 地域

種別	件数(件)	割合(%)
大阪市内	5,386	24.0
府域	12,803	57.0
他府県	242	1.0
不明	4,050	18.0
合計	22,481	100.0

(5) 年齢

種別	件数(件)	割合(%)
10歳未満	0	0
10歳代	59	0.3
20歳代	667	3.0
30歳代	2,560	11.4
40歳代	5,615	25.0
50歳代	4,731	21.0
60歳代	1,758	7.8
70歳代	211	0.9
80歳代以上	132	0.5
不明	6,748	30.1
合計	22,481	100.0

(6) 相談内容（複数有り）

結果	件数(件)	割合(%)
医療機関	17,252	41.0
福祉関係	2,523	6.0
その他	22,285	53.0
合計	42,060	100.0

イ 精神科救急医療情報センターの設置

「こころの救急相談」で相談を受けたあと、精神科救急医療情報センターの看護師や精神保健福祉士等が医療機関と連携して受診が必要かどうかを判断し、受診が必要な場合は症状等にあった医療機関に受診を予約している。

【受付時間】

平日 17時から翌朝9時
土曜日・休日 9時から翌朝9時

ウ 一次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センターで外来対応可能と判断された場合に、大阪市こころの健康センターにおいて外来対応を行っている。

【受付時間】

平日・土曜日 20時から23時
日曜日・休日 10時から16時

エ 二次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センターで入院医療も含めた救急受診が必要と判断された場合に速やかに入院できるよう、府内の精神科病院に救急入院用病床を確保するとともに外来対応も行っている。

【受付時間】

平日 17時から翌朝9時，土曜日・休日 9時から翌朝9時

確保病床件数及び受診件数(大阪市・大阪府・堺市) (件)

	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
病床確保数	2,948	3,290	1,969	1,341	1,502	2,190	2,857	2,928	3,023	3,016	3,031
入院件数	1,893	1,395	1,297	1,227	1,346	1,361	1,379	1,518	1,309	1,367	1,425
外来受診件数	605	527	481	373	458	445	436	397	384	327	334
合計	2,498	1,922	1,778	1,600	1,804	1,806	1,815	1,915	1,693	1,696	1,759

オ 身体合併症治療体制の確保

平成14年4月1日から大阪府の精神科救急医療システムに参画し、大阪府・堺市と共同で身体合併症受入病院を府下に11病院確保している。

身体合併症受入病院(11病院)

北野病院・大阪大学医学部附属病院・大阪府立急性期・総合医療センター

大阪市立大学医学部附属病院・藍野病院・関西医科大学附属滝井病院・東香里病院

浅香山病院・大阪医科大学附属病院・大阪市立総合医療センター・大阪赤十字病院

身体合併症患者の受入件数(大阪市・大阪府・堺市) (件)

病院名	精神科 病床数	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
北野病院	20	1	1	3	1	1	0	0	1	0	0	0
大阪大学医学部附属病院	52	0	3	1	4	1	1	1	0	2	2	0
大阪府立急性期・総合医療センター	34	23	21	23	36	92	108	111	102	86	83	67
大阪市立大学医学部附属病院	40	4	4	2	7	3	5	6	5	1	4	4
藍野病院	600	89	77	57	75	127	74	74	73	78	70	81
関西医科大学附属滝井病院	39	3	2	6	3	2	3	4	10	9	5	2
東香里病院	173	16	31	25	29	21	16	18	5	17	6	13
浅香山病院	948	51	65	63	54	61	41	45	37	37	33	46
大阪医科大学附属病院	60	5	5	15	10	9	6	8	9	9	19	14
大阪市立総合医療センター	55	6	9	9	3	8	7	9	22	24	33	23
大阪赤十字病院	42	12	5	8	7	9	4	2	5	2	4	8
合計	2,063	210	223	212	229	334	265	278	269	265	259	258

病床数は平成28年3月31日現在の数である。

おおさか精神科救急情報センター 平成27年度（平成27年4月～28年3月）実績報告

1. 対応件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総件数	243	310	265	254	268	280	254	237	246	230	212	199	2,998

2. 相談経路

	件数
救急隊	807
こころの救急相談より転送	944
警察	991
その他	256
合計	2,998

3. 発生地域

	件数
大阪府	1,551
大阪市	1,254
堺市	191
府外発生対象外	0
不明	2
合計	2,998

4. 対象者性別

	件数
男性	1,422
女性	1,497
不明	79
合計	2,998

5. 対応医療機関件数

(件)

浅香山	10
小曽根	3
こころあ	12
貝塚中央	44
木 島	63
久米田	111
京 阪	26
光 愛	8
国 分	106
阪 本	27
さ わ	246
汐の宮温泉	115
七 山	89
ねや川サナトリウム	27
阪 南	210
水 間	16
浜 寺	25
精神医療センター	6
茨 木	7
新阿武山	33
大阪さやま	10
八尾こころのホスピタル	6
関西サナトリウム	12
丹比荘	23
阪奈サナトリウム	10
ほくとクリニック	123
関西記念	18
吉 村	25
オレンジホスピタル	4
小 阪	5
榎 坂	3
新生会	2
合 計	1,425

6. 時間帯別入電件数

(件)

0:00～0:59	162
1:00～1:59	132
2:00～2:59	98
3:00～3:59	83
4:00～4:59	70
5:00～5:59	58
6:00～6:59	39
7:00～7:59	26
8:00～8:59	10
9:00～9:59	86
10:00～10:59	77
11:00～11:59	78
12:00～12:59	76
13:00～13:59	66
14:00～14:59	58
15:00～15:59	59
16:00～16:59	62
17:00～17:59	354
18:00～18:59	242
19:00～19:59	242
20:00～20:59	249
21:00～21:59	253
22:00～22:59	225
23:00～23:59	193
合 計	2,998

(9) 精神保健福祉に関する予算・決算業務

社会復帰施設の建設・整備以外の精神保健福祉に関する事業の予算・決算業務等を大阪市こころの健康センターで実施している。

第 3 資 料

1 大阪市精神保健福祉審議会 開催内容

第1回 平成8年4月30日(火) 於;大阪コクサイホテル

審議事項

- ・大阪市精神保健福祉審議会の設置について
- ・大阪市精神保健福祉審議会条例

第2回 平成9年9月12日(金) 於;大阪第一ホテル

審議事項

- ・大阪市の精神保健福祉センターの機能のあり方について
- ・(仮称)大阪市障害者支援プランについて

報告事項

- ・平成9年度精神保健福祉関係事業について
- ・大和川病院について

第3回 平成10年9月11日(金) 於;大阪市役所

審議事項

- ・審議会の公開について
- ・大阪市障害者支援プランについて
- ・地域保健法及び地域精神保健福祉体制について

報告事項

- ・平成10年度精神保健福祉事業について
- ・精神保健福祉法の改正について

第4回 平成12年2月22日(火) 於;大阪市役所

審議事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・「(仮称)大阪市こころの健康センター」の設置と新たな地域精神保健福祉体制について
- ・大阪市内における精神科救急体制の検討について
- ・施設コンフリクトの解消に向けた基本的な考え方について

報告事項

- ・精神保健福祉法の改正について

第5回 平成13年2月8日(木) 於;こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市内における精神科救急医療体制の整備に関する中間とりまとめ

(案)」について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第6回 平成14年3月28日(木) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・大阪府域の精神科救急医療体制の整備について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・精神保健福祉に関する平成14年度新規事業

第7回 平成15年2月7日(金) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・(仮称)大阪市精神科救急医療部会の設置について
- ・新障害者支援計画の策定について

報告事項

- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第8回 平成16年3月26日(金) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の策定について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」開催状況について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成16年度予算(案)の概要について

第9回 平成17年3月28日(月) 於；大阪市立大学医学部医療研修センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の進捗状況について(報告)
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」の開催状況について(報告)
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成17年度予算(案)の概要について
- ・「心神喪失者等医療観察法」について
- ・障害者自立支援法案の概要

第10回 平成18年3月28日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・障害者自立支援法案の概要について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会の開催状況について」
- ・新たな精神科救急医療体制について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成18年度予算(案)の概要について
- ・精神保健福祉法改正に伴う精神保健福祉審議会の取り扱いについて

第11回 平成19年3月26日(月) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・精神保健福祉関係平成19年度予算の概要について
- ・障害者自立支援法に基づく福祉サービスの現状について
- ・障害福祉計画について

第12回 平成20年3月26日(水) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「自殺防止対策部会」の設置について

報告事項

- ・精神保健福祉関係平成20年度予算の概要について
- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」への部会名称変更及び開催状況について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例について
- ・障がい者福祉サービスの現状について

第13回 平成21年3月30日(月) 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市自殺対策基本指針(案)」について

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費(精神通院)支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について

- ・精神保健福祉関係平成21年度予算の概要について
- ・第2期大阪市障害福祉計画について

第14回 平成22年 1月21日(木) 於；こころの健康センター
審議事項

- ・会長の選出について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例の一部改正について
- ・専門部会の再開について

報告事項

- ・自殺防止対策関係識者検討会議の報告について
- ・今後のスケジュールについて

第15回 平成22年 3月26日(金) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成22年度精神保健福祉関係予算の概要について

第16回 平成23年 3月14日(月) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成23年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害者制度改革等について

第17回 平成24年 3月29日(木) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪市障害者支援計画・障害福祉計画について
- ・平成24年度精神保健福祉関係予算の概要について

第18回 平成25年 3月26日(火) 於；こころの健康センター
報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成25年度精神保健福祉関係予算の概要について

第19回 平成26年3月26日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成26年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・次期大阪市障がい者支援計画・大阪市障がい福祉計画の策定について

第20回 平成27年3月31日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成27年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・大阪市障がい者支援計画・第4期大阪市障がい福祉計画(案)について

第21回 平成28年3月23日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪版新精神科救急体制(精神科合併症支援システム)について
- ・平成28年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に向けた本市の取組みについて

2 精神医療審査会

(1) 運営状況

ア 精神医療審査会の開催状況(過去10年間) (回)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
審査会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合議体	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

イ 入院届の審査状況(過去10年間) (件)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
入院届	159	199	392	573	590	670	664	672	843	771	
結果	現入院形態が適当	159	199	392	573	590	670	664	672	843	771
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

ウ 医療保護入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
定期病状報告		0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
結果	現入院形態が適当	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

エ 措置入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
定期病状報告		22	31	16	29	21	17	24	39	33	22
結果	現入院形態が適当	22	31	16	29	21	17	24	39	33	20
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

オ 退院請求の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
退院請求		12	5	10	13	14	19	11	16	16	22
結果	現入院形態が適当	6	1	4	4	4	6	2	2	7	6
	他の入院形態へ移行	0	0	1	0	0	2	1	5	0	2
	取り下げ等	6	4	5	9	10	11	8	9	9	14

カ 処遇改善請求の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
処遇改善請求		0	0	0	2	1	3	4	5	1	0
結果	処遇が適当	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0
	処遇が適当でない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取り下げ等	0	0	0	2	0	2	3	4	0	0

(2) 実地審査状況(過去10年間)

(件)

		年度									
		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
審査件数		19	10	22	16	17	21	26	24	20	22
結果	現入院形態が適当	19	10	22	16	17	21	26	24	20	21
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 措置（緊急措置）診察・入院状況（過去10年間）

（件）

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
申請・通報件数	166	182	197	199	246	290	294	302	373	327
22条申請	1	3	3	2	0	1	0	0	0	2
診察せず・取下げ他	0	1	0	1	0	1	0	0	0	2
措置診察件数	1	2	3	1	0	0	0	0	0	0
措置入院件数	1	2	3	1	0	0	0	0	0	0
非該当件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23条通報	119	97	94	99	127	134	133	121	135	131
診察せず・取下げ他	28	32	37	32	49	59	79	80	90	97
措置診察件数	91	65	57	67	78	75	54	41	45	34
措置入院件数	57	57	51	57	73	73	50	39	43	33
非該当件数	10	8	6	10	5	2	4	2	2	1
24条通報	15	24	41	30	31	31	43	36	41	26
診察せず・取下げ他	2	12	17	12	12	2	7	12	13	12
措置診察件数	13	12	24	18	19	29	36	24	28	14
措置入院件数	11	9	21	11	14	24	34	19	28	14
非該当件数	7	3	3	7	5	5	2	5	0	0
25条の2、26条通報	31	70	59	68	88	125	118	145	197	174
診察せず・取下げ他	31	68	58	68	87	124	116	143	196	174
措置診察件数	0	2	1	0	1	1	2	2	1	0
措置入院件数	0	2	1	0	1	1	2	2	1	0
非該当件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急措置診察件数	160	194	150	138	135	110	122	104	98	80
緊急措置入院件数	132	159	121	125	114	93	110	90	84	69
本鑑定実施せず他	37	19	5	14	17	6	11	7	3	1
本鑑定件数	95	140	116	111	97	87	99	83	81	68
該当件数	91	100	102	91	81	75	87	75	74	56
非該当件数	20	40	14	20	16	12	12	8	7	12
非該当件数	28	35	29	13	21	16	12	14	13	11

同年度において「緊急措置入院件数 = 本鑑定実施せず + 本鑑定件数」となっていない年度があるのはその年度末の緊急措置診察の本鑑定を翌年度に行っているため。

大阪府下の精神科病床を有する病院（平成26年9月末日現在） 病院・指定・病床数同じ

	病 院 数	指定病院数	精神科病床
大 阪 市 内	6病院	4病院	231床
堺 市 内	6病院	4病院	2,872床
大 阪 府 下 (大阪市・堺市を除く)	50病院	35病院	15,791床
合 計	62病院	43病院	18,894床

大阪市内の精神科病床を有する病院（平成26年9月末日現在）

		病 院 名	精神科病床
大 阪 市 内	指 定 病 院	大阪府立急性期・総合医療センター	34床
		大阪市立総合医療センター	55床
		大阪市立大学医学部附属病院	38床
		ほくとクリニック病院	50床
	そ の 他	北野病院	12床
		大阪赤十字病院	42床
合 計			231床

4 精神障がい者保健福祉手帳交付状況（過去10年間）

（人）

年度		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
		等 級	1 級	2,048	2,134	2,215	2,376	2,547	2,668	2,722	2,733
2 級	7,710		8,606	9,659	10,775	11,961	13,354	14,313	15,016	15,772	16,964
3 級	2,759		3,029	3,512	4,200	4,814	5,337	6,361	7,737	9,287	10,056
交付数 計		12,517	13,769	15,386	17,351	19,322	21,359	23,396	25,486	27,731	29,741

5 精神障がい者保健福祉手帳所持者数

(27年度末現在) (人)

区	等級	1級	2級	3級	計
北		53	421	330	804
都島		88	559	340	987
福島		43	203	132	378
此花		81	352	244	677
中央		46	312	219	577
西		51	284	218	553
港		78	497	339	914
大正		79	479	270	828
天王寺		47	285	195	527
浪速		71	430	325	826
西淀川		75	410	292	777
淀川		164	1,003	448	1,615
東淀川		160	1,409	695	2,264
東成		73	526	260	859
生野		171	901	468	1,540
旭		132	628	351	1,111
城東		146	982	484	1,612
鶴見		90	600	265	955
阿倍野		95	586	311	992
住之江		123	763	476	1,362
住吉		198	1,179	733	2,110
東住吉		165	1,069	602	1,836
平野		294	1,712	1,024	3,030
西成		198	1,374	1,035	2,607
合計		2,721	16,964	10,056	29,741

7 自立支援医療費(精神通院)受給者数

(27年度末現在)(人)

区	受給者数
北	1,823
都島	1,820
福島	894
此花	1,266
中央	1,261
西	1,093
港	1,627
大正	1,527
天王寺	1,154
浪速	1,463
西淀川	1,483
淀川	3,419
東淀川	4,451
東成	1,612
生野	2,842
旭	2,073
城東	3,118
鶴見	1,866
阿倍野	1,790
住之江	2,396
住吉	3,876
東住吉	3,045
平野	4,824
西成	3,723
合計	54,446

6 自立支援医療費(精神通院)受給者数状況(過去10年間)

(人)

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
受給者数	32,529	32,126	35,056	37,842	41,313	43,878	46,918	49,419	52,086	54,446

8 保健福祉センターにおける相談指導の状況

(平成27年度実績)(人)

	面接相談		電話相談	訪問指導		精神保健福祉相談 合計 (+ +)
	実人員	延人員	延人員	実人員	延人員	
北	321	990	1,448	60	169	2,607
都 島	151	676	1,008	70	156	1,840
福 島	141	831	514	45	158	1,503
此 花	148	408	819	53	107	1,334
中 央	128	709	828	57	160	1,697
西	155	643	578	49	128	1,349
港	230	762	658	64	146	1,566
大 正	284	1,206	1,031	91	150	2,387
天 王 寺	113	681	318	48	108	1,107
浪 速	144	499	448	66	274	1,221
西 淀 川	135	505	481	36	92	1,078
淀 川	184	845	1,088	90	196	2,129
東 淀 川	308	918	936	100	240	2,094
東 成	135	449	579	58	193	1,221
生 野	188	939	426	90	196	1,561
旭	121	266	416	42	101	783
城 東	168	675	831	32	152	1,658
鶴 見	118	500	587	29	149	1,236
阿 倍 野	188	994	467	54	134	1,595
住 之 江	132	330	418	64	139	887
住 吉	165	827	1,386	119	246	2,459
東 住 吉	442	1,976	1,006	107	232	3,214
平 野	330	1,528	1,570	129	278	3,376
西 成	385	1,630	1,184	93	229	3,043
西 成 分 館	12	23		0	0	23
合 計	4,826	19,810	19,025	1,646	4,133	42,968

9 保健福祉センターにおける一般クリニックの状況

(平成27年度実績)

	一般クリニック		
	回数 (回)	実人員 (人)	延人員 (人)
北	30	61	76
都 島	29	49	70
福 島	35	48	92
此 花	13	25	28
中 央	21	29	47
西	22	38	45
港	28	30	48
大 正	38	76	114
天 王 寺	21	38	52
浪 速	21	33	43
西 淀 川	23	43	58
淀 川	44	84	89
東 淀 川	42	68	101
東 成	35	60	87
生 野	20	38	55
旭	22	30	47
城 東	40	41	87
鶴 見	24	37	55
阿 倍 野	32	31	68
住 之 江	20	43	49
住 吉	29	40	58
東 住 吉	38	82	114
平 野	32	84	100
西 成	45	49	123
西 成 分 館	9	10	10
合 計	713	1,167	1,716

10 保健福祉センターにおけるグループワーク・酒害教室の状況

(平成27年度実績)

	グループワーク					酒害教室				
	回数 (回)	実人員 (人)		延人員 (人)		回数 (回)	実人員 (人)		延人員 (人)	
		男	女	男	女		男	女	男	女
北						11	6	4	38	17
都 島	46	14	8	215	99					
福 島	47	9	10	196	183					
此 花										
中 央	44	8	7	141	67					
西						10	29	12	70	17
港						11	30	44	81	73
大 正						12	45	12	145	25
天 王 寺	44	14	9	199	202					
浪 速										
西 淀 川						10	20	14	61	35
淀 川	46	7	8	193	260					
東 淀 川						11	26	11	132	41
東 成										
生 野						23	48	20	273	82
旭										
城 東										
鶴 見						12	22	13	70	24
阿 倍 野						11	39	21	165	51
住 之 江										
住 吉	44	9	6	169	179					
東 住 吉	45	12	9	249	198	24	41	20	260	94
平 野						12	31	25	130	76
西 成						24	48	13	274	66
西 成 分 館										
合 計	316	73	57	1,362	1,188	171	385	209	1,699	601

大阪市こころの健康センター所報
(平成27年度)

発行 大阪市こころの健康センター
〒534-0027
大阪市都島区中野町5丁目15番21号
都島センタービル3階
電話 06-6922-8520